

## 沿革

元禄元年より明治6年に至る間、宍道、白石、佐々布、伊志見等々に神宮、僧侶及び資産家を手習師匠として寺小屋教育を行う。

- 明 5. 5 明治5年7月学制発布により、大字宍道及び白石を以って学区とし、明治6年5月26日開校、第四大学区島根県管内第十八中学区宍道小学校と称し、正定寺を以って校舎に充てる。
10. 12 第四大学区島根県第廿七中学区第百参番宍道小学校と改称
14. 12 島根県出雲国第廿九番公立宍道小学校と改称
15. 6 校舎を新築する。事務室1室、教室3室
16. 6 白石、佐々布学校を併合して、分校、分教場を置く。
18. 意宇郡第十二番学区宍道小学校と改称
23. 3 島根県意宇郡十四番学区宍道尋常小学校と改称
24. 4 宍道尋常小学校と改称
25. 7 高等科を併置し、開校式を行う。
28. 7 増築校舎竣工式
31. 1 男生徒、女生徒別に校訓を定める。
32. 9 増築校舎落成式
37. 3 第一回父兄会(参観日)
39. 9 第一回母姉会(参観日)
40. 1 講堂(雨天体操場)落成式
42. 7 増築校舎落成式
44. 5 高等科に補習科設置
45. 3 「教授訓育優良」県知事表彰
- 大 3. 10 本校舎改築落成式
14. 7 運動場新設
15. 7 青年訓練所併置
- 昭 2. 11 町制施行により宍道町立宍道小学校と改称
3. 11 御大礼奉祝記念として、校歌を制定
8. 5 校旗を制定
12. 3 「体育優良校」として文部大臣表彰
34. 3 完全学校給食を開始

- 昭 37. 1 校舎移転竣工式
41. 3 プール竣工
47. 6 校庭拡張 フェンス工事完了
48. 5 開校100周年行事
53. 2 しんじひろば文集第1号発刊
55. 3 新校舎一棟竣工
- 4 校章制定
- 7 昇降口及び渡り廊下、新校舎二棟竣工
56. 2 新校舎三棟竣工
- 5 竣工式(体育館・校舎)
- 10 校庭拡張整地作業完了
58. 5 環境部の作業により、前庭花壇完成
- 8 プール竣工式・プール開き
59. 12 中庭小禽舎完成
63. 10 玄関前樹木に高野槇定植
- 平成. 5 機械警備開始
3. 8 ランチルーム開設
4. 6 校庭照明設置
6. 3 校舎外壁塗装工事
- 4 自由服に移行
7. 9 国際理解教育開始、CIR着任
- 12 体育館屋根工事
11. 3 学校給食自校方式閉鎖
- 8 コンピューター教室整備
- 11 文部省指定道徳教育研究発表大会
16. 12 島根県国際理解教育研究大会開催
17. 3 市町村合併により松江市立宍道小学校となる
21. 6 校庭の芝生化
21. 11 全国学校体育研究大会 松江大会開催
23. 4 全国子ども読書活動優秀実践校表彰
24. 7~8 体育館耐震化工事
25. 7~8 校舎耐震化工事
26. 7~9 校舎2棟大規模改修工事
27. 7~9 校舎1棟外壁塗装工事
28. 7~9 校舎1棟大規模改修工事
29. 2 佐々布川護岸修理工事
29. 7~10 校舎3棟(管理棟)大規模改修工事(10月完了)
29. 10 島根県教育研究大会(松江大会)会場校
- 令和. 8 普通教室エアコン整備
- 令 5. 開校150周年記念行事

## 地域の様子

出雲風土記に、「国造りノ神猪追ヒ給ヒシ道故宍道ト言フ」と記されている。

国引き伝説には、沖合いに4つの国をつなぎ、東を夜見の島、西を大社から三瓶を指す砂嘴によって遮り、日本海の波を避けた入り海が描かれている。前面にこうした海の出雲を見晴らし、峠一つ越えた後に豊かな奥出雲を控えた地が宍道である。町誌によると、奈良時代以降も豪族や武士が目し、水運と宿場としての地の利が明治まで続いた。明治42年に鉄道が敷かれ、国道9号線、54号線も開通し、交通の要衝として発展してきた。

産業は、繊維、機械、電子等をはじめとする工業、全国規模の島根県中央家畜市場が建設されて注目された畜産業、町の北西に広がる干拓地や町の周辺で営まれる農業が主産業である。また、故郷情緒豊かな宍道湖での漁業も風物詩の一つとなっている。

### 校章に込められた思い



☆三角形を基調とした安定感  
☆三位一体を象徴する主題性  
☆点と線の美の統一の三つの  
願いが込められている。

### 宍道みずうみ学園シンボルマークに込められた思い



☆しじみのキャラクターを中心に宍道湖と来待の灯籠を配置したデザイン。円周の赤は各校の屋根瓦の石州瓦の色。オレンジ部分は夕日を表す。4本の木は学園の幼保園・小学校・中学校を表し、宍道みずうみ学園の子どもたちが健やかに成長するようにという願いが込められている。

